

4. 一般撮影の身長・体重情報の取得について ～医療情報の立場から～

済生会山形済生病院 医療情報管理室 ○新宮幸博
 済生会山形済生病院 放射線部 大内智彰

【Background (背景)】

- ・多くの病院の一般撮影の DICOM TAG には、身長・体重の情報が付随されていない
- ・当院の CR の DICOM CS には、身長・体重の項目が存在しない(Table 1)
- ・Japan DRLs2015 で一般撮影の評価基準は「標準体格」と表記、2020 では「成人 50～60Kg の一般的な体格」と具体的となったが、男性の平均身長時の基準体重では、DRLs の範囲外 (Fig.1).
- ・今後、より明確な評価基準に移行していくことは容易に想像がつく

Table 1 DICOM Conformance Statement for CR

Patient Identification		
Patient's Name	(0010,0010)	PN
Patient ID	(0010,0020)	LO
Other Patient IDs	(0010,1000)	LO
Patient Demographic		
Patients Birth Date	(0010,0030)	DA
Patient's Sex	(0010,0040)	CS
Ethnic Group	(0010,2160)	SH
Patient Comments	(0010,4000)	LT

※ 身長・体重の項目がない

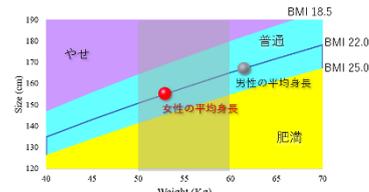


Fig.1 Average Size and Reference Weight
 ※ 男性平均身長時の基準体重でも範囲外

【Purpose (目的)】

線量管理をおこなうにあたり、「一般的な体格」の定義を数値化するには、身長・体重のデータは必須となる。そこで、HIS の身長・体重情報を DICOM TAG に取り込めないか検討したので報告する。

【Method (方法)】

電子カルテ・PACS サーバー更新にあわせ、2022年7月1日より、検像装置で、Accession Number から、HIS にアクセス、身長・体重情報を自動で取得し、DICOM TAG に追記する。

【Result (結果)】

- ・検像時に、身長・体重・依頼科・依頼医情報を取得 (Fig.2)
- ・身長・体重の取得率は約 70% (Fig.3)



Fig.2 Acquisition screen on the imaging device

【Consideration (考察)】

- ・検像・電子カルテメーカーへ働きかけが必要
- ・Accession Number での連携は、多方面で重要性が増す

【Conclusion (結語)】

- ・検像で身長・体重データを自動取得することができた
- ・約 7 割のデータを取得できたため、統計の精度向上が期待される
- ・最新データとは言えないため、統計時、外れ値を考慮する必要がある
- ・一般撮影の DICOM TAG に身長・体重項目の追加を強く希望する
- ・すべての医療情報の数値化・最新化につとめ、精度を高めていきたい

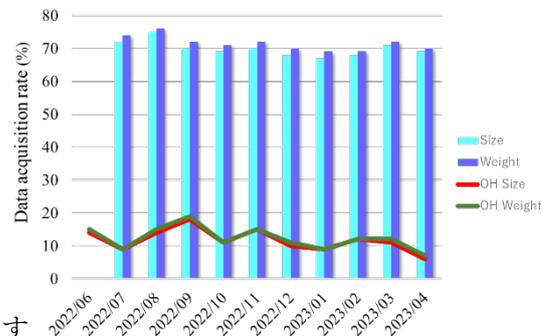


Fig.3 Size/Weight Acquisition rate